

授 業 概 要

(こども保育科)

授業のタイトル（科目名）		授業の種類	授業担当者	当該科目に関する実務経験
保育実習指導Ⅰ		（講義・演習・実習）	河村 和代	保育士
			野田 和江	保育士
授業の回数	時間数（単位数）	配当学年・時期	必修・選択	
30 回	60 時間（2 単位）	1 年・通年	必修	
[授業の目的・ねらい]				
- 保育実習の意義、目的を理解する。 - 実習の内容を理解し、自らの課題を				
[授業全体の内容の概要]				
- 実習に関する概要、方法、記録のとり方、実習生としての心構えなどについて学習する。 - 学外からの特別講師から理論や実技などを学ぶ。				
[授業終了時の達成課題（到達目標）]				
保育実習の意義、目的を理解し、自分なりのめあてを持って意欲的に実習に取り組む。				
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]				
1. 保育実習の目的と意義 2. 実習の留意事項について（マナー、守秘義務など） 3. 保育現場の実際① 4. 保育現場の実際② 5. 保育とは①（保育内容の展開、内容構成、子どもの活動） 6. 保育とは②（保育内容の展開、内容構成、子どもの活動） 7. 現代の保育について（認定こども園・幼保一元化・子ども子育て新プランなど） 8. 観察と記録①（視聴覚教材を通して） 9. 観察と記録②（視聴覚教材を通して） 10. 実習日誌の書き方について① 11. 実習日誌の書き方について② 12. 指導案の書き方について① 13. 指導案の書き方について② 14. 指導案（部分実習）作成 15. 特別講演会（保育） 16. 身上書の書き方、事前訪問の仕方について 17. お礼状の書き方について 18. 自己紹介用の小物製作① 19. 自己紹介用の小物製作② 20. 事前指導①実習に関する書類（様式）の確認 21. 事前指導②実習日誌・指導案についての確認 22. 事前指導③実習に向けての心構え、留意事項の確認 23. 事前指導④巡回担当教員との面談 24. 実習目標設定 25. 保育所実習反省会 26. 施設実習の目的・意義／施設とは（施設の機能と特徴） 27. 施設の実際／保育士の役割 28. 施設見学 29. 演習（食事・着脱・排泄など施設での様々な場面における対応について） 30. 特別講演会（施設）				
[使用テキスト・参考文献]				
- 保育所施設実習ハンドブック（ミネルヴァ書房） 『フォトランゲージで学ぶ子どもの育ちと実習日誌・指導計画』（萌文書林） 『幼稚園・保育所実習のよく出会う問題とその対応』（萌文書林） - 保育実習の手引き				
[成績評価の方法と基準]				
教科出席率が 80％以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。				
- 考查点 (75％) - 到達目標の修得状況を測るために、筆記及び実技試験により期末考查を実施する。 - 平常点 (25％) - 事前課題を期限までに提出し、その内容が課題に沿ったものである。 - 授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。				